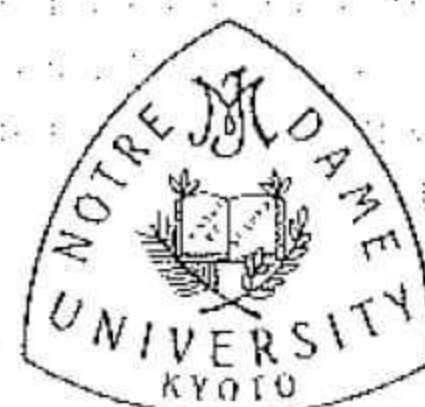




マリアン

第34号

発行
京都ノートルダム女子大学
同窓会
平成16年4月1日発行
マリアンハウス
京・左京区岩倉幡枝町628
TEL/FAX (075) 701-9149

一陣の風を呼ぶ



会長 大田喜代子
(4E)

春光を浴びて、青葉が輝き、一年中の好季節となりました。いかがおすごしでしょうか。大学創立期に入学しました私にとって―皆で大学を守る、自分達で作っていかなくては―という熱き心で活気にあふれていたその頃より四十二年の歳月が過ぎようとしています。改めて歴史に同窓会の皆様とその喜びを分かち合いたいと思います。

京都ノートルダム女子大学に関係する人達が結束し、同窓会と大学が一緒になって考える時代になって来ています。大学施設内での第二回パソコン教室(十三頁)、大学祭にあわせてホームカミングデー(十一月二日)とまた卒業式へのご招待等新しい大学創りがな

されている母校をいま一度見ていただきたく存じます。

世界は今、民族紛争の渦の中、依然として先き行きが不透明で厳しい環境下にあります。クリスマスにはボランティア活動で得た収益をNHK歳末たすけあいと聖マリア養護学園に献金させていただきました。今後多方面に広げていきたい活動です。

十月二十一日(木)のチャリティーバザー、文化プログラム、各種講座、日本文化研究会、手芸ボランティア等、マリアン会報及び大学ホームページ上で様々な行事活動情報を掲載しております。すべてのことが会員のご協力無しには出来得ないことばかりで、お一人おひとりの力が大切です。日頃家事におわれているお母さん、社会で活躍中の卒業生、「ちよつと覗いてみましょうか」の気楽な気持ちで参加していただけることを心からお待ちしています。そして「なつかしい同窓生のお顔が出会い、残しを残して、再会を誓う」といった気分になっていただければ幸いです。さあ、春はひとしきり吹く一陣の風のあいさつから始まります。

祝御入会

本年度は、英語英文学科一〇二名、人間文化学科四三名、生活福祉文化学科八六名、生涯発達心理学科一〇八名、が三月十一日に御卒業になり、同時に第四十期の同窓会員となりました。

学年委員は次の方々です。

(英) 芳野麻里絵 多田貴美子
(人) 山川 智加 川嶋絵理子
(生福) 藪田 亜耶 吉田 千晃
(生発) 島本佳代子 伴 郁美
島田れい子

目次

一陣の風を呼ぶ.....	会長 大田喜代子	1
学生のマナー.....	学長 梶田 徹一	2
平和な世界を築く人... Sr.ベルナルド岩井		2
心理臨床センター開設... 副センター長 鎌田 稜		3
40周年記念事業寄付の御礼.....	大学より	3
第2回 ホームカミングデー.....		3
第40回総会のお知らせ.....		4
同期会だより.....		5
第39回総会報告.....		6
会計報告.....		7
ネパールサポート.....		7
支部だより.....		8・9
同窓生短信.....		10・11
留学生のための京都散策ツアー.....		12
お知らせ案内板.....		13
マリアンハウスのお知らせ.....		14・15
同窓会アクティビティーご案内.....		16

学生のマナー



学 長
名誉顧問
梶田 叡一

学生会執行部がカラフルなパンフレットを作成し、学生達に配布している。表紙に大きく「マナーを守ろう!!」という言葉が掲げられ、小さく「素敵な女性になりましょう!」という言葉が添えられている。中を開けると「守ってください学校、社会の規則とマナー」「京都ノートルダム女子大学生としての誇りと品位を持とう!」という言葉に続いて、13項目のアピールが、細かな説明付きで掲げられている。

アピールは「道路いっぱい広がって歩くと危険」「ゴミの捨て方、大丈夫?」「挨拶をしましょう」「二足制を守りましょう」「自動車通学は禁止」「交通ルールを守りましょう」「自分の持ち物は自分のロッカーへ」「食事をする場所を考えましょう」「図書館でのマナーを守っていますか?」「車内・授業中での携帯電話はダメ!」。

最近の学生の姿がここから透けて見えるであろう。若い女性達の自己中心性が、そして甘い考え方と言動のだらしなさが、多くの人の頭痛の種となっている。我々の大学も例外

ではない。しかし嬉しいのは、学生達自身の中から、こうした姿を是正しようという動きが出てきていることである。

毎朝、大学の正門のところで、警備員と女性職員とが「おはよう!」と大きな声で学生一人ひとりに声を掛けています。多くの学生がそれに応えて挨拶をしている。これもまた、嬉しい情景である。最近の学生の姿を嘆いているだけではどうにもならないのである。



顧 問
Sr.ベルナルド岩井

みなさまお元気でしょうか?いろいろな形で学生を見守り、援助して下さっている有難うございます。奨学金、留学生を一日京都観光に、大学の諸行事に参加、ND祭パンフレットに公告掲載(学生にとってこれは資金援助、同窓生の存在アピールです)仕事の求人、その他いろいろです。学生が先輩達の眼差しを感じると言うのは大変貴重なことです。

今年、(03)教会により「聖なる人」と宣言されたカルカッタのマザーテレサは1982年に始めて来日された時「日本は(世界で?)一番貧しい国だ」と言われたといいます。彼女にとって貧しさとは、お互い同士心を許していない淋しさ、誰からも必要とされ

ていず、また愛されていず、何をも愛することとを知らない孤独、苦しみなど精神的貧しさを指しています。日本は世界から「経済大国」「教育熱心な国民」「穏やかな国民」と思われていますが、マザーテレサのお言葉は真実だと思えます。こういう時代だからこそ「先輩の眼差し」が貴重なのです。そして、学生が左記の聖フランシスコの祈りを生きた助けとなるのです。みなさまも一緒にこの祈りを唱えてみてください。そしてこれからますます人々と温かい繋がりの輪を広げ、家庭で、社会で光となつて平和な世界を築く人となつて下さいますよう祈っています。

聖フランシスコの祈り

主よ、

私をあなたの平和の道具にして下さい。

憎しみのあるところに愛をもたらす人に、

争いのあるところに許しを、

疑いのあるところに信仰を、

絶望あるところに希望を、

闇あるところに光を、

悲しみあるところに喜びをもたらす人に

して下さい。

主よ、

慰められるよりも慰めることを、

理解されることよりも理解することを、

愛されるよりも

愛することを求めることが出来ますように。

私たちは、

人に与えることによって多くを受け、

許すときに許されるのですから。

心理臨床センターが 開設いたしました



生涯発達
心理学科教授
副センター長兼任
鎌田 穰

当センターは、地域への社会的貢献を目的とし、また、生涯発達臨床心理学専攻の院生たちが心理的援助を実習し、臨床心理学の実践研究をおこなうために設置された大学の附属施設で、外来相談は有料でおこないます。医学部の附属病院をイメージしていただければいいでしょう。

開設は2003年3月20日に開所式を執り行い、5月から本格稼働いたしました。スタッフは、4月から生涯発達臨床心理学専攻臨床心理学領域の大学院生8名も加わり、センター長1名、教員による専任相談員6名、常勤の専門相談員1名、嘱託精神科医1名、専門事務職員1名、これに客員教授5名を加えて、23名のスタッフで運営されておりま

す。この他、組織改変がおこなわれ、学内学生相談部門も統括されました。サービス内容は、各種カウンセリングの他、表のような発達支援のためのプログラムが定期的に開催されています。どうぞ電話にてご連絡ください。

プログラム名	内 容	カウセリング料・1時間2,000円。各種プログラムは料金が異なります。
○ こがもクラブ	発達支援	卒業生・全プログラム半額・
○ ストレス・グループ	ストレスマネジメント	女子在学生・法人設置校在籍者・無料
○ 不登校専門外来家庭教師		完全予約制・電話 075-706-3722 (直通)
○ 紹介プログラム		
○ 親子関係セミナー	子育て支援	
○ コミュニケーション・ワーク	対人関係改善	

第二回ホームカミングデー

渡辺 純 名誉教授がご講演

吉田(旧姓永山)智子(20E)

大学祭二日目の十一月三日、第二回ホームカミングデーが催されました。

今回は、「十一期生の巽寿子さん他のジャズサロン」と渡辺純名誉教授による「あの講義を今一度―思出づるまゝに」と題された約三〇分の講演が企画されました。

渡辺先生は九十歳になられ、現在も朝日カルチャーで俳句の指導を続けておられるそうです。今回の依頼に「野々仲町一番地のあの校舎で再び講義できるのですか?」と非常に喜んで下さったとの事で、講演は、それはすばらしいものでした。

タイトルの「思出づるまゝに」というのは、先生が作られた「秋深しあれこれ思出づるまゝ」という俳句から取られたそうです。講演は、先生が昭和40年4月、52才の時に開学間もないノートルダム教授となられた当時の大学の様子からスタートして、担当授業「英語英文学特論」「英文学史I・II」でのエピソードや当時の大学の様子と御自分の俳句を交えながらユーモアたっぷりに話されました。満員のガイスラーホールには度々笑いがおこり、大学時代に先生の授業を受けた私はすっかり学生にタイムスリップして、お話

に聞き入りました。

先生は、英語英文科の主任もされ、「英語に強いノートルダム」の中核を長年担って下さいました。この様な立派な先生方が大学を發展させてこられたんだなあ、後に続く我々も益々頑張らねばと、卒業生であり、現在は本大学の教員でもある私は強く思いました。



渡辺名誉教授をお迎えして
S40年~63年 英語英文学科教授
S48年~61年 英語英文学科主任

大学からの御礼

平成13年度より実施してまいりました、創立40周年記念事業に際しましては多数の会員の皆様方の深いご理解により過分なご寄付をいただき心より御礼申し上げます。記念館(マリア館)の建設をはじめ諸計画全般をいづれも計画どおり実施し、つつがなく終了致しましたことをご報告申し上げます。また、同窓会からも多額のご寄付をいただきましたことを改めて御礼申し上げますとともに、マリア館内のマリア像及び同館 ガイスラーホール内の教育機器の購入に充当させていただきましたことも併せてご報告致します。今後より一層ご期待に添うべく努力いたします所存ですので引き続きご支援・ご鞭撻をいただきますようお願い申し上げます。

平成16年度

第40回総会のお知らせ

日時 5月16日(日) 午前11:00(受付10:30)
場所 京都宝ヶ池プリンスホテル「高砂の間」
地下鉄「国際会館」下車 TEL.075-712-1111
会費 7,000円 子供1,500円 (ベビーシッターなし)
「アフタヌーン コンサート」
木村直子氏 宮下和子氏 吉山 輝氏



☆吉山 輝(ピアノ)
桐朋学園大学ピアノ科を首席で卒業。卒業後大阪を拠点に演奏活動を行う。大阪フィル、日本フィル等のコンサートマスターを始め多数のソリストと各地で共演。現在、相愛大学、武庫川女子大学講師。



☆宮下和子
(セカンドヴァイオリン)
京都市立芸術大学 音楽学部卒業。ヴァイオリンを岩淵龍太郎、木村和代、石井純、竹内恵子、室内楽を岸辺百雄、上村昇の各氏に師事。大学推薦 新人演奏会出演。卒業後京都フィルハーモニー室内合奏団入団。現在フリーランスで、ソロ、室内楽奏者として、活躍中。



☆木村直子(ヴァイオリン)
京都市立芸術大学卒業。ヴァイオリンを岩淵龍太郎、亀田美佐子、室内楽を故黒沼俊夫の諸氏に師事。西日本テレビ賞受賞。
1984年オーストリアに留学。現在大阪シンフォニア・コレギウム第2ヴァイオリン首席奏者。

同窓会創立40周年を迎え、今回は、ヴァイオリンとピアノの演奏をお楽しみいただきます。ショパンや外国民謡等皆様おなじみの曲に耳を傾け、お仕事や家事、育児など普段の生活をしばし忘れて、懐かしい先生方や旧友と共に心安らぐひとときをご一緒いたしましょう。
お友達が参加されないから、参加しないのではなくあなたが友達を誘って是非ご参加ください。きっとコミュニケーションの輪が広がることでしょう。ひとりでも多くの皆様のご出席を心よりお待ちいたしております。

今年度担当 23期生

内山 佳代
本波 佳由

10期生 30周年記念同窓会へのお誘い

紅葉の美しい季節に
京都に集合しましょう!!

日時 11月21日(日) 12:00より
場所 白河院
(左京区岡崎法勝寺町)

後日、ハガキにてご案内差し上げます。

10期学年委員
西川啓子 西尾年代 村田麻里子

祝周年	35周年	5期
	30周年	10期
	25周年	15期
	20周年	20期
	15周年	25期



1期生 同期会のお知らせ

日時 11月27日(土) 12:00より
場所 山ばな・平八茶屋

詳細は後日ハガキにて
1期生 川勝宏子 安田光代

『四期生 三十五周年同窓会』

金井 陸子(4E)

平成十五年十月十一日、秋晴れの中、京懐石「花伝」で卒業三十五周年を記念して同窓会を開催いたしました。前回から五年振りで卒業生の約三分の一、四十二名が集合しました。一人二分間の自己紹介は爆笑と感嘆の声の中で、四十二通りの人生披露。ボランティア活動に奔走する人、趣味を極める人、バレエや声学の習い事を始めた人、英語の勉強を続けている人、現役で仕事をバリバリしている人、病気を克服した人等々。欠席の方々の近況報告には『親の介護の為』と『体調が思わしくなく』というのが相当数ありました。参加者一同、同窓会に出席できる事の幸せをしみじみかみしめながら、おいしいお料理に舌鼓を打ち、学生時代の思い出話に花を咲かせ、今回来られなかった人々に思いを馳せながら楽しいひとときはあっという間に過ぎました。五年後の元氣な再会を祈りつつ二次会へと席を移しました。



『九期生 三十周年同窓会』

安達 都子(9C)

昨年九月二十七日、京都ブライトンホテルにて九期生の三十周年記念同窓会を開催いたしました。当日は秋晴れに恵まれ、遠方からも御出席いただき、三十名の参加がえられました。子供達のこと、御両親の介護のことなど昔話に加えて話題も広がり、あつという間に時間が過ぎました。久しぶりに皆様とお会いし、楽しい時を共有できました。五年後の三十五周年の同窓会で、又お会いできるのを楽しみに、と再会をお約束しました。



5期生

35周年記念同窓会のお知らせ

日時 10月20日(水)
12:00より

場所 白河院
(左京区岡崎法勝寺町)

後日、ハガキにて
ご案内差し上げます。

5期学年委員

山村美佐子 西村 晶子

○本部役員の承認について
二〇〇三年の総会に於て次のように役員が承認されました。

会長	4E	大田喜代子(森)
副会長	2E	本多 ゆり(佐伯)
書記	5E	杉崎 裕子(森田)
	3E	小亀 峯子(杉本)
会計	10E	田麿 博子(田麿)
	3E	片桐 比佐(中田)
	5E	阪村 道子(窪田)
庶務(広報)	2E	大塚 彩子(服部)
(名簿)	4C	森田江實子(岸中)
	4E	島田真由美(渡辺)
	4E	渡辺 裕子(水上)
マリアンハウス	2E	栗原 英子(上田)
会計監査	13E	須田 朗子(橋本)
	1E	藤田 祥子(葛川)
庶務の渡辺裕子(4E)さんは都合により 平井和子(7E)さんに交代しましたので御 報告致します。		

○学年委員の変更について

吉田梨予子	(9E)	(交代)
下水木淑子	(9C)	(交代)
村田麻里子	(10C)	(追加)

■資料提供のお願い

ND女子大学創立五十周年にそなえて、資料になる当時の写真、挨拶文、記念の品などを求めています。創設時代の卒業式および卒業週間(バラとロウソクの行列など)に関するもの、その他資料があれば、提供をお願いいたします。ご記憶に残る出来事、思い出などもお聞かせください。

大学総務課 075(706) 3700

第39回

総会報告

二〇〇三年五月二十五日、同窓会総会が初夏の緑に包まれた京都宝ヶ池プリンスホテルにて開催されました。学長、副学長、新顧問のシスターベルナルド岩井をはじめ、シスター先生方をお迎えして同窓生九十九名（同伴子供三名）が集いました。

一同で学歌斉唱のあと、帰天された恩師、卒業生のご冥福を祈って黙祷を捧げました。会長挨拶に続き、本部・各支部活動および会計報告、新年度予算案と新会長候補の承認と挨拶などの議事が滞りなく完了、引き続き、名譽顧問の梶田学長、新顧問のシスターベルナルド岩井より、ご挨拶をいただきました。会場ホール入り口では手芸ボランティアによる作品販売が行われておりました。これらボランティア作品および同窓生からの寄贈品販売による年間収益金から一部をインド・ネパールの子供達の教育支援金として贈呈いたしました（七頁参照）



ラリグランスクラブ代表五十嵐さん(1E)に支援金を贈呈

懇親会では二十二期生企画、『今を生きる女性にとつてのインターネットとは』と題して二十期生人間文化学科助教教授吉田智子先生より大変興味深いお話をうかがいました。

恒例のミキモトのくじ引きで大いに盛り上がった後は、マリアンコーラスの『峠の我が家』、『アヴェマリア』に耳を傾けました。たのしいひとときはあつという間に過ぎ、閉会の時となりました。聖歌『シャローム』を一同で二部合唱し、互いに再会の日まで神の恵みを祈りました。



平成十五年 活動報告

五月

第三十九回総会（京都宝ヶ池プリンスホテル）
関東、中部支部委員との合同委員会
手芸ボランティア活動開始
各種クラス春期開講

六月

国際交流マリアン奨学基金から留学生に奨学金授与

「シスターセリオンを囲んで」（マリアンハウス）

日文研 西陣織会館と千本釈迦堂見学

七月

※講習会 「コンテナガーデン」

八月

※講演会 「ストレス社会と家族病理」

九月

※講習会 「おばんざいを作る」

※講習会 「フラダンス」
日文研 白沙村荘、橋本関雪記念館見学

十月
各種クラス秋期開講

マリアンハウスオープンデー（バザー、喫茶、作品展示）

日文研 天龍寺見学

十一月

※講習会 「クリスマスリース作り」
物故者追悼ミサ（ユニソン会館）

関東支部総会出席（十一月二十日）

日文研 栗生の光明寺見学

十二月

※講習会 「クリスマスマスアレンジメント」
ノートルダムクリスマスマス（ユニソン会館）

一月

各種クラス冬期開講
日文研 新年会

三月

同窓会新入会員への説明会
第40回大学卒業式列席
（三期生招待）

※講習会 「ケーキ作り」

日文研 法然院見学

四月

平成16年度大学入学式列席
会報マリアン第34号発行
総会準備

※講習会 「おばんざいを作る」

同窓会会員 コード番号 について

平成16年3月より4学科の学生が卒業となり、同窓会コード番号は次のようになります。

40E — 001		
卒期	学科	氏名のアルファベットの順
1.	英語英文学科	E
2.	人間文化学科	C
3.	生活福祉文化学科	W
4.	生涯発達心理学科	P

注…日文研—日本文化研究会

※…於マリアンハウス

平成14年度会計報告 収支報告

自：平成14年4月1日
至：平成15年3月31日

収入の部		支出の部		
費目	決算額	費目	予算額	決算額
前年度繰越金	34,233,187	総会費	600,000	318,614
終身会費	9,015,000	マリアンスカラシップ	1,300,000	1,163,000
預金利息	4,292	マリアン発行費	1,900,000	1,498,077
マリアンスカラシップ返済金	881,540	卒業記念費	600,000	496,125
クラスアクティビティ参加費	145,500	クラスアクティビティ	1,000,000	700,000
名簿代金	4,850	支部活動・援助費	500,000	391,000
		会議費	300,000	188,681
		交際費	300,000	145,859
		通信費	200,000	135,525
		事務費	250,000	151,778
		マリアンハウス運営費	2,000,000	2,000,000
		大学院設立竣工祝	1,000,000	1,000,000
		マリアンハウス10周年記念	200,000	200,000
		予備費	200,000	108,589
		小計	10,350,000	8,497,248
		次年度繰越金		35,787,121
合計	44,284,369	合計		44,284,369

左記の通り決算報告申し上げます。

会計 藤田 祥子
阪村 道子

本決算を審査の結果、収入支出いずれも適正であることを認めます。

会計監査 小笹 依子

平成15年5月25日

「ネパールミSSIONのこの頃」

シスターイヴァンジェラ今村

ノートルダム教育修道女会の私達三名は、今年十月十九日、ネパールに出発しました。バンディプール村で学校教育、幼児教育に携わる為に再派遣されたのです。

その二年前、二〇〇一年六月にシスター達はバンディプール村のノートルダム校を閉じて帰国していました。暴力に訴えて命令に従わせていたマオイスト（ネパール共産党毛沢東主義派）が学校閉鎖を強制したためです。

しかし一年後の二〇〇二年七月、ネパールカトリック教会のランシー神父が校長となり、学校を再開しました。ひっそりとしていた校舎に再び子供達の声が聞こえるようになったのです。私達三人は現在そこで教えています。

マオイストと政府側の一月以来の和平交渉は八月末に決裂、両者間の交戦が局地的に続いていて、ほとんど毎日何人かが殺されたというニュースが聞かれます。しかし、ノートルダム校のあるバンディプール村は、今のところ平和で、三二〇名の生徒達は喜んで登校して来ます。

幼児教育と保育を行っているセトグラス、ラリグラス保育園は、シスター達の不在中もネパール人の先生達により活発に続けられていました。今は私達も加わって、先生達、子供達と共に元気で賑やかな保育活動が行われています。

いつも同窓会の皆様が御支援下さることに心から感謝申し上げます。

バンディプールにて

「すべては恵み 命も出会いも」

命も出会いも

聖マリア養護学校長

シスター・マリア村田

このたびは皆様の温かいお心がこもれるクリスマス献金をいただきまして本当にありがとうございます。思いがけない、しかし神様の御計らいと感じられる出来事でした。

京都市北総合養護学校が創立され、来春をもって本校の役割は終えることになりました。今年度は最終年度ということでもあり、どこにもご寄付の依頼をいたしませんでしたので、少し困っていましたところへ、同窓会からのご訪問を受けました。神様のお使いのように感じました。

この38年間重い障害を担った子供たちと共に歩むことができたことを感謝しつつ、すべての子供たちに明るい未来が開かれるようにと祈り続けます。

（二〇〇三年十二月の礼状より抜粋）

寄付金の内訳

- インド友愛の手 100,000円
- ネパールサポート (ノートルダム教育修道女会) 70,000円
- ネパールイエズス会(ラリグラス) 30,000円
- イラクの子供たちへ (カリタスジャパン) 100,000円
- NHK歳末助け合い 100,000円
- 聖マリア養護学校 100,000円

支部だより

関東支部

関東支部長 中塚 順子 (13C)



七月十二日に学年委員会を開きました(出席者十四名)。
関東にもマリアンハウスのような同窓会活動の拠点があれば、関東支部でも自由にアクセスして情報を得る事ができるホームページを開いては、とのご意見が出ておりました。子育て真っ最中で自由に動けない中で同窓会との接触を望んでいる方々のためにこの方法がよいのではないかと考えました。しばらくは本部のホームページに便乗させていただくことになりました。

総会を終えて

第15回関東支部総会を11月30日(日)に開催いたしました。大学より、同窓会顧問のシスターベルナルド岩井、米田泰子教授、須川いずみ教授をお招きし、本部より、大田会長、杉崎副会長の出席をいただき、総勢76名の参加となりました。会場は六本木のレストラン「クイーンアリス迎賓館」を貸し切って美味しいフレンチを味わいました。手狭のようにも感じましたが、「テーブルが小さい方

がお互いの距離が近くてお話がしやすく楽しかった」と言う嬉しい感想をいただきました。食事中はチェロとピアノの生演奏で優雅な雰囲気にも包まれておりました。演奏はアベマリアで締めくくられ、総会は学歌の合唱で幕を閉じました。皆様のご協力で素晴らしい総会が開催できましたことを感謝いたします。

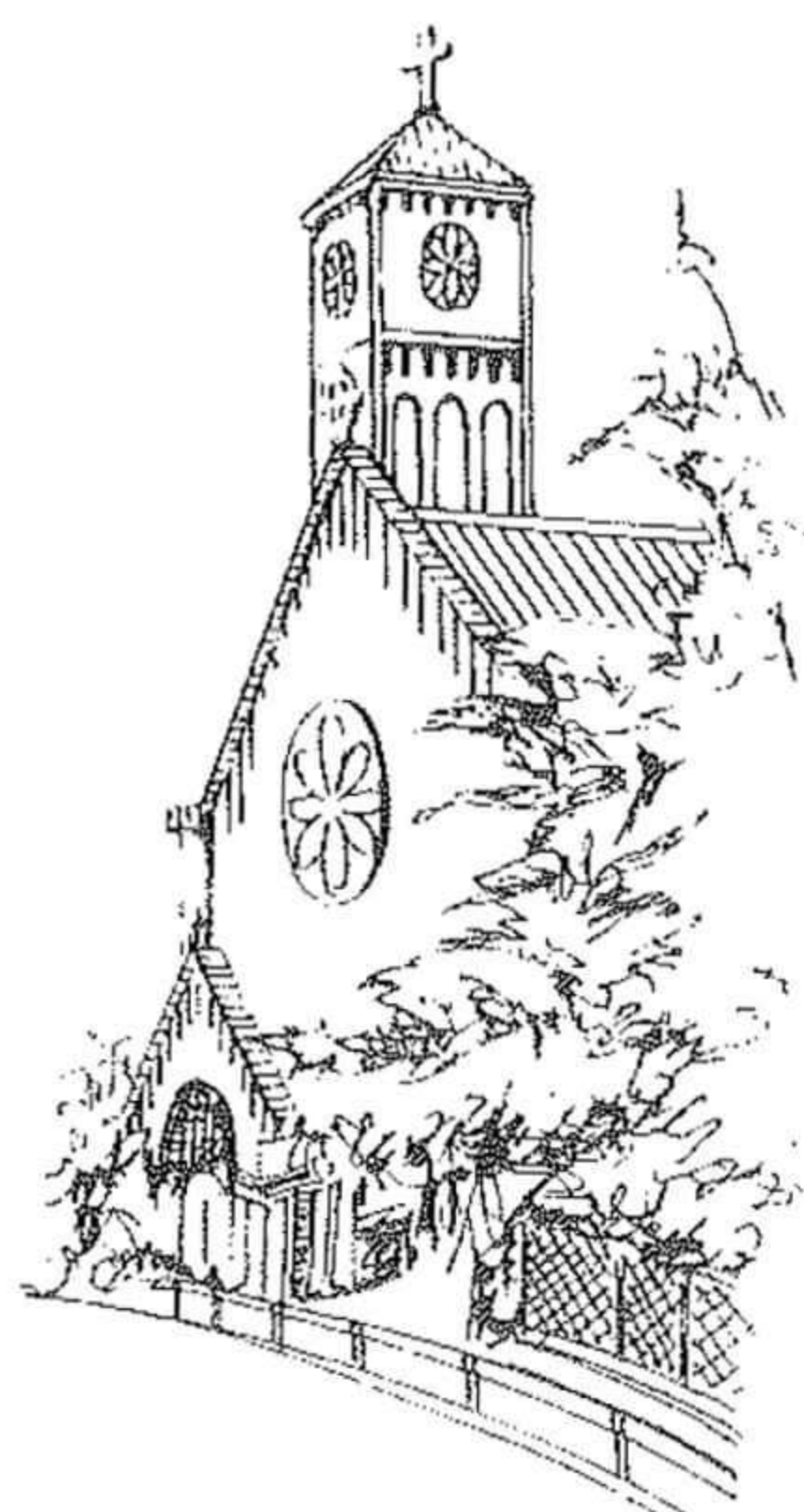
また、会員の中でも多彩な才能をお持ちで活躍の方々を紹介させていただきました。
「グラスリッツェンの講師」宮崎純子さん(7期生)
「女優」坂下日出美さん(12期生)
「山桜桃(ゆすら)」というペンネームで創作人形作家「大保久美子さん(13期生)」
「帽子製作とニードルフェルトの講師」中西裕子さん(13期生)
「声優」溝上真紀子さん(18期生)

関東支部新役員

支部長	香川 雅子さん (14E)
会計	河崎 利子さん (14C)
計	朝増 得子さん (14C)



関東支部の新しい集会の場所
・援助修道会(新宿区市ヶ谷)
・サレジオ教会(目黒区碑文谷)



「創作人形に出会って」

大保久美子(13E)

一人っ子だったせいかな人形は幼いころから身近な存在でしたが、30代で初めて人形を制作した時は世の中にこんな楽しいことがあったのかという思いでした。それから16年経ちましたが創作の楽しさは初めて人形を制作した時と基本的には変わっておりません。制作をはじめると脳の中のスイッチが創作モードにすーっと入ってアルファ波がたくさん出てくるのを感じます。創作の世界では限りなく自由に空想し、思いのまま表現したいのですが、まだまだ形にする技術が追いついてこないのが時間がかかりました。人形を創作するようになってから、いままで見ていて気がつかないものがたくさん見えるようになってきました。自然も色や形いろいろなものを見せてくれます。創作では技術も必要ですが、心に因る部分が大きい気がします。何故若い感性豊かな時、創作について勉強しなかったのかと悔やんだこともあります。今で

は遅く出会ったからこそ続けていられるのだ
 と思えてきました。一見無駄や遠回りに思え
 る経験、辛かったこと幸せだったこと、自分
 の意識、無意識、すべての要因がジグソーパ
 ズルやパッチワークのように合わさり創作す
 ることにつながったような気がします。自分
 の好きな道に出会えたことは人生で精神的な
 宝くじが当たったようでとても感謝しており
 ます。人形を個展などで発表する時は本名で
 なく植物のゆすらうめから取った「山桜桃」
 と書いて「ゆすら」という名前を使っており
 ます。遅咲きのまだ蕾ではありますが今後と
 もよろしくお願い申し上げます。



YUSURA DOLL

中部
 支部
 副支部長 品川 記子
 (3C)

オアシス

長い教員生活にピリオドをうたれましたシ
 スターセリオンに感謝の気持ちを込めて、六月
 十三日に「シスターセリオンを囲む会」を名
 古屋にて開催いたしました。二十五名ほどの
 参加があり、四十二年間の教員生活のご感想
 や思い出、ノートルダム女子大学が設立され



マリアンハウスに於てもシスター・セリオンを
 囲んで感謝の集いが開かれました。

た頃の学生と現在の学生の違いなどいろいろ
 なお話を聞かせていただきました。懐かしき
 と同時に時代に伴い変化している学生生活に
 大変な驚きを感じました。将来への期待と不安
 の中、シスターに感謝することばかりでした。
 長年にわたりお忙しい中を遠方からお越し
 ただいてくれる月一度の「聖書のクラス」で
 は、聖書の中の一節を黙読し、心に残った言
 葉について話し合います。その他にも政治、
 教育、子育て、介護、病気、テレビの話題、
 ペットのこと等々、ある時には、いろいろ
 な「祈り」の中の「私」についても話し合
 います。その会話の中での皆様の一言ひとこと
 によって私は自分なりに、反省、後悔、慰
 め、励み、癒し、意欲、感謝、愛について、
 その時の気持ちを整理し修正することができ
 るような気がしています。日常の慌しさから
 ほんのチョット立ち止まって、ゆっくりと自
 分を見つめ直し、日頃忘れかけている大切な
 何かに気付くとても貴重なひと時なのです。
 ある日 シスターが言われました、「この
 時間が皆様の心のオアシスになれば」と。

本当にかけが
 えのない「心
 のオアシス」
 になっていま
 す。
 シスターセ
 リオン、同窓
 生の皆様、
 そして、こ
 のオアシスに
 感謝をこめて
 !!

今年度の中部支部活動予定

一、十一月十三日(土) 総会

幹事(十九期生) 岡田安代 加藤敦子

西村真理子

場所 RYOTEI「千代田」

名古屋市中村区名駅三丁目

一、十月頃「友」発行

一、月一回(第二金曜日)

Srセリオン「聖書クラス」

転居通知

びわ湖のほとりの修道院に引越しました。

憩いのひとときには是非お立寄り下さい。

お待ちしております。シスターセリオン松本

〒五二〇一〇一〇六

滋賀県大津市唐崎一丁目三ノ一

ノートルダム修道院

(電) 077(579) 2937

九州
 地区

坂本 佳枝

(1C)

平成15年の九州地区の集いはありませんで
 したが、今年は7月頃、福岡か熊本にて開催
 したいと思えます。多数の方のご希望・ご意
 見、お寄せいただきますようご連絡お待ちし
 ております。

四国
 地区

佐野 英子

(9E)

同窓会の集いをもちたい方は御連絡下さい。

同窓生短信

「卒業後のわたくし」

篠 光子(4C)



私は大学を卒業した後、プロテスタントの「聖イエス会ロゴス神学院」(四年制)を出

て、教会を牧する仕事をしています。

昨年で献身三十周年を迎えましたが、この間に、西宮市に「アンネのバラの教会」を建設し、大分市に「栄光の賛美教会」を建設しました。そして現在は「栄光の賛美教会」にいます。

教会で何をしているかと申しますと、日曜の午前中は、礼拝説教と聖歌隊の合唱指導。月曜の夕方は、中学生に聖書を教える聖書クラス。木曜の夜は、信徒の方の聖書研究講義。土曜の午前中は、子供たちの教会学校。

以上は三十年間変わらない奉仕です。

他に、私はアンネ・フランクの研究と、日本のキリシタン殉教者の研究をライフワークとして、この講演が全国であります。

数年前からは、大分県生涯教育センターから依頼されて、「大分県ニューライフアカデ

ミア婦人大学」の、非常勤講師も勤めています。この市民大学は二年間の短大で、生徒は三十歳から八十歳までの女性、二四七名が受講しています。とにかく中年、熟年の女性を中心なので、いつも熱気にあふれ、向上心に燃える方々でエネルギーに満ちています。私の来年度の講義は「女性論」で、張り切

って原稿を準備している昨今です。

「音楽の力はスゴイ」

滝口 壽子(11E)



趣味だった音楽が仕事になって、二十数年が経ちました。ピアノとエレクトーンの講師

として、またホテルのブライダルでの、プレイヤーと音楽プロデュースの仕事を通して、若い人たちから受ける刺激が若さを保つ秘訣かも、などとそれなりの充実感を味わえる余裕も出てきました。音楽療法も学び、音楽の力の大きさも感じるようになりました。

音楽を通して少しずつ広がった輪で、何か社会の役に立ってないかと始まったのが、「盲導犬のためのピアノとエレクトーンによるチャリティーコンサート」です。

「盲導犬クイールの一生」という本や、テレビドラマを見て興味をお持ちになった方がい

らっしゃることでしょう。クイールはその仕事を成し遂げ、晩年は盲導犬の啓蒙のため尽くしました。欧米に比べ、まだ日本では認知度が低いのが現状です。

ちょうどクイールの命日にあたる、平成十五年の「海の日」に、会場から溢れんばかりのお客様を迎えてコンサートを開きました。そこにはクイールの跡を継いだノビー君も来てくれました。私の頭に「一粒の麦」の一節が浮かびました。ノビーが生まれたのも「海の日」だったのです。そして平成十六年七月の「海の日」に、再びチャリティーコンサートを開きます。クイールという一粒の麦が、音楽を通して多くの実を結ぶことを祈って。

二期の二宮さんよりお元気なSrメリーヘレン Srマイクルの様子を伝えるお便りが届きました。

Christmas Holiday Luncheon at Peppermill 2003



左から Srマイクル田代、二宮さん
ウエイド伸子さん (4E)
Srメリーヘレン (93才)

「志・とどきますように」

御船 眞里(17C)



「いらつしやいませ、
ようこそ齊木別館へ」
これが、私がお客様と
その日初めてのお出会い

させていただく時の御挨拶。

実は私、山陰の三朝温泉で、旅館の若女将として頑張っております。日々お越しいただくお客様と、様々なお出会いをさせていただくことは楽しくもあり、又その逆も。

お客様の御要望は十人十色をはるかに超え、一人十色の時代に入り、そのお心を察するには相当のエネルギーが必要でございます。

一人のお客様から厳しいお教えを頂戴し、心がうつむき加減になっている時、また別のお客様から「頑張れよ、若女将。また会いに来るから」などと心温まるお言葉をいただくる。毎日の泣き笑いの中に、これ程まで多くの方々とお出会いさせていただける女将の仕事は、女冥利に尽きるといっても決して過言ではないと思っております。日常なかなかお会いできない方々とお目にかかれ、その上お話までさせていただける、本当に有難いことでございます。

年齢、性別、職種他を越えてのお客様とのお出会いは、私にとって良き勉強の場。これ

からもその一瞬一瞬を大切にし、女将として、女として、そして何より人間として磨きをかけていけるよう努めたい、そう思っています。これまでお出会いした沢山の方々からいただいた「気」「心」を胸にとめ、それを私の心の糧として。

さつ、そろそろ出勤の時間です。

着物の襟元を整え、笑顔を絶やさず、心をひきしめ、今日はどんな方とのお出会いがあるでしょう。若女将として一番緊張する一瞬です。そして私の大好きな瞬間、心が高鳴ります。さあ、心を込めて：「いらつしやいませ。ようこそ齊木別館へ」

感謝

「本当のお出会い」

松岡 正美(31E)



キャスターの仕事が始めて3年が経とうとしています。京都で生まれ育った私は、人にどんな京都を伝えられるだろうと思つたことがきっかけでした。テレビの仕事は一見華やかそうに見えますが、決してそうではありません。5分のリポートをするなら、1週間から10日かけて外を走り回り取材、撮影、編集、原稿作成など何百倍もの時間をかけて準備します。その準備の時間と放送後にこの仕

事の魅力と喜びがあります。

最近、取材を通じてある女性に出会いました。京都出身で初めて能楽師を目指し修行をしている女性です。京都で女性能楽師を目指すのは易しいことではありません。しかしその女性が稽古する姿を見て話を聞くうちに、自分の本当にやりたい事を見つけるのがどれほど難しく、また幸せなことが分かるようになりました。ただひたすらに稽古を積む。「舞っている時だけ、少し自分を好きでいられる」と彼女は話します。彼女の取り組みを取り上げ、放送した後、応援と励ましの声が多数彼女の元に届いたそうです。私にその連絡をしてくれた彼女の声と表情は、取材中とは全く違うものでした。明るく迷いが無く、自信に満ちていました。

私はこれまで数え切れないほど多くの人を取材してきました。誰かの人生の岐路や心の岐路に出会える機会はこの仕事をしていなければほとんど無かったかもしれません。京都の春夏秋冬、伝統は素晴らしいものです。しかし、それ以上にすばらしい京都人の心に出会う幸せを私は見つけました。外からは見えない京都を私はこれからも伝え続けたいと思います。

聖書に親しむ

忙しいに追われる毎日、ふと立ち止まりあなたの生き方について考えるひとときです。聖書の一節が語りかけるメッセージに耳を傾け、心と心に響くように。第四金曜日 一時三十分～三時

マリアンハウス

第一回留学生のための

京都散策ツアー

真夏の太陽が照りつける八月七日、京都ノートルダム女子大学に留学中の三年生の崔善今さん（本学インターナショナル・スチューデントクラブ会長）を代表に一年生から四年生まで十一名と同窓会員十名と計二十一名で京都市内観光に出かけました。

国際交流マリアン奨学基金の有効な活用の一環としてお役にたてることがあればと、母国を離れて不自由な環境で勉学に励んでおられる外国人留学生の皆様を歴史ある京都の町並、寺院へ案内しました。

大学を出発して縁日や入試や梅苑の時期には多数の参拝者で賑わう北野天満宮をかわきりに、

北山文化を代表する金閣寺、天竜寺の境内をそぞろ歩きながら、渡月橋へ、大堰川の中州では涼風



を頼にうけながら、嵐山界わいで過ごし、昼食後東山ドライブウェイを一路走るバスの中では韓国や中国の文化、歴史、生活様式の違い、言葉のカベを越えて、大いにお国自慢に盛り上りました。將軍塚の丘から市街を一望して心ゆくまで楽しみ夕闇せまる頃、下山して家路に着きました。

国際交流マリアン奨学基金

募金のお礼とお願い

大学創立40周年を記念して外国人留学生を支援するための国際交流マリアン奨学基金を設立以来、同窓生の皆様からたくさんのご寄付を頂きまして誠に有難うございます。

平成15年6月12日ユニソン会館同窓会室におきまして、五名の二回生在籍の外国人留学生に教科書代として一人当たり二万円を授与いたしました。その席で留学生一人ひとりから勉学に対する強い意欲や生活の状況を聞き、同窓会として奨学金の必要性をますます深く感じました。

この奨学基金に今後も一人でも多くの同窓生のご理解とご協力をお願いいたします。

一口 三、〇〇〇円（何口でも可）
郵便振替口座番号

〇〇九八〇一五一一五七七二三



「かしこくなりますように…」

北野天満宮にて

- 以下の方々に御寄付いただきました。（順不同、敬期生省略）
- 1 安田光代 石原圭子 阿部葉子 浦本景子 田村豊子
 - 渡辺脩子 諸石安見子 北原暉子 川勝宏子 所 明子
 - 新家比佐子 2 田中寛子 中村明子 山田成子
 - 3 三田和恵 村田祿子 高木里美 宮井順子 小泉玲子
 - 4 富田 岐 山下美栄子 川上加代子 片山美弥子
 - 安達昇子 松本敦子 森田江實子 駒井和枝 小永井宏子
 - 大田喜代子 渡辺裕子 6 小笹依子 遠嶋素子
 - 武田三千枝 田畑八千代 三井良子 朝山幸子 木村曉子
 - 本原靖子 7 芝田満寿美 八十福子 平田眞名
 - 8 塩見恵理 内田裕子 三山和子 倉沢雅美
 - 9 山下えり子 10 柴田良子 加藤貞子
 - 11 佐々木令子 12 山田恵子 13 小山奈穂子
 - 奥田敦子 須田朗子 14 塚脇朝子 橋本友子 森紀久子
 - 畠 量子 中野淳子 15 竹田典子 美馬 緑 堀 敦子
 - 16 増川貴美子 梅本美代子 梅田典子 越村美香
 - 武田真澄 17 有賀 都 清水典子 藤田栄子
 - 服部美緒子 井筒一芽 19 米田 香苗 21 若林尚子
 - 下牧文恵 22 山下貴志子 井上奈都 23 三代山美子
 - 宇都宮晴子 松井 斉子
 - 24 橋井恵子 25 才寺香織 26 海田美穂 下牧文恵
 - 垣内緑子 28 山岸ひとみ 31 笹岑明子 32 奥山紀子
 - 37 田井淳子 藤田栄子 38 庄田亜樹

ホームカミングデーの御案内

平成16年11月2日(火)は卒業生が母校に招待されます。多数の御参加をお待ちしています。
詳細は大学ホームページ
(<http://www.notredame.ac.jp/>)
をご覧ください。

卒業式への御招待

来春は4期生が招待されます。
ミニ同期会でもいかがでしょうか。

平成17年 3月10日(木)

カトリック教育センター 公開講座

- ・講座名 自分を知る気づきの旅
—エニアグラムの学びを通して—
- ・講師 Sr野本佳子(第一期生 援助修道会会員)
- ・内容 「自分」を知らないことから多くの困難に出会います。エニアグラムは古くから伝わる人間学です。仕事場や家庭の中で人間関係がうまくいかない方、自己成長を目指している方の助けになるでしょう。ワークショップの形でいたしますので、気軽にご参加ください。
- ・日時 原則として第4土曜日
(4/24 5/22 6/26 10/2 10/30
10月は例外 11/27 1/22)
初めての方：10時～12時半
継続者：13時半～16時
- ・場所 京都ノートルダム女子大学 マリア館内
- ・申込み キャンパス・ミニストリー室 シスター岩井まで
主 催 京都ノートルダム女子大学
カトリック教育センター

第2回パソコン教室

ゆっくり学ぼう 入門講座(中高年向き)

- ・会場 京都ノートルダム女子大学 ユニソン会館1F
ビジネスアカデミー
- ・定員 30名(先着順)
- ・受講料 1回 2,000円
(テキスト代及び消費税込み)
5回(全講座)8,000円
(テキスト代及び消費税込み)
受講料は講座当日ご持参ください
- ・日程 1回 6月14日(月) Windows/インターネット/メール
2回 6月21日(月) デジカメの撮影と編集
3回 6月28日(月) はがき作成
4回 7月5日(月) はがき作成
5回 7月12日(月) 総仕上げ
- ・開講時間 10時30分～12時30分
- ・申込方法 申込書(マリアンハウス及び大学ホームページ)
に必要事項を記入の上ビジネスアカデミーに
郵送又はFax
- ・お問合せ先 ビジネスアカデミー
Tel.075-706-3765 Fax.075-706-3773
申込締切 6月9日(水)
主催 京都ノートルダム女子大学 同窓会
共催 ノートルダム女学院 同窓会

訃報

御冥福を心よりお祈り申し上げます。

田中 恭子様 (14 E) 伊藤 若菜様 (38 E)
昭和55・3・1 帰天 平成14・秋 帰天
志摩南三子様 (14 E) 田代 悦子様 (旧姓河野) 12 E
平成7・10・23 帰天 平成15・5・20 帰天
天辰 恵子様 (旧姓時枝) 10 E 福井 佳代様 (旧姓堤) 1 E
平成12・6・20 帰天 平成15・6・12 帰天

同窓生に御不幸がありましたら、
マリアンハウスまで御一報下さい。
同窓会として弔電を送らせていただきます。

カトリック女子大学総合スポーツ競技大会
平成16年12月18日(土)・19日(日)本学にて開催。
競技種目、硬式テニス・バスケットボール・バドミントン
参加校 聖心女子大学、ノートルダム清心女子大学、
京都ノートルダム女子大学 応援参加をお願いします。

真珠会からのお知らせ

真珠会(大学裏千家茶道部OG会)は月に一度
(第4土曜)大学の茶室をお借りしてお稽古、年
に一度の予定で茶会を催しています。発足3年目
の昨年は日高宗貴先生の御指導のもとささやかな
がら初めての茶会を催すことができました。これ
からも人と人との和を大切にするという茶道のこ
ころを大事にしながら、ノートルダムファミリー
の交流の場としても機能する事を目的として活動
してゆきたいと考えております。

入会金5,000円 月会費1,000円
茶会準備金年10,000円

問い合わせ先 33C金森由布子 32C長谷川真矢
32E末松 浩美 34E柳井美由紀
33E仲辻亜由美 35C福澤沙由美

マリアンハウス チャリティーバザー!!10月21日(木)

「マリアンハウス オープンデー」の名称が変わりました。

会員の皆様から「オープンデーって何?何をしているの?」と聞かれるのですが「知っている人しか知らない。」というのでは、せっかくのイベントももったいない、もっと多くの人に理解していただけるよう名称を「マリアンハウス チャリティーバザー」に変えました。

今年度は10月21日(木)に開催します。沢山の寄贈品、手芸品、手作りケーキを販売します。又おいしいケーキでティータイムやお弁当を楽しんでいただけますよう準備しています。売り上げ金は国内、国外の恵まれない子供達に役立てております。そこで皆様のご家庭でねむっております品物をどうぞマリアンハウスまでお送り下さい。タオル・シーツ・石ケン、食料品、衣類等(但し新品)

送り先

〒601-0015 京都市左京区岩倉幡枝町628 マリアンハウス
TEL&FAX 075-701-9149



新調したテントでは鉢植を販売



和室でSrベルナルドとの懇談会



ご近所の方も朝早くから参加

手芸ボランティアより

岡 和(4E)

金曜日になると、岩倉のマリアンハウスから賑やかな話し声とミシンの音が聞こえてきます。手芸ボランティアの活動の日です。この活動はマリアンハウスの活動の日です。この活動はマリアンハウスが幡枝に建てられる前からずっと続いていますが、最近作品も色々楽しいものが増えてきたように思います。若いメンバーも増えてパワーアップしたせいででしょうか。自宅で作られた作品を送ってくださったり、同窓生のお母様までご趣味の手織をお送りくださったりして、皆様のご協力にとっても心強く、感謝しています。今度はこんなものを作ってはと、何かアイデアがありましたら教えてください。私達に出来るようでしたら、ご希望に添えるものを作っていきたいと思っています。そして手芸に興味をお持ちの方、どうぞ私達の活動にご参加ください。お待ちしております。

マリアンハウス報告

マリアンハウスが設立され十一年目に入りました。年々会員数も増えクラスアクティビティ、文化プログラム等活動内容も広がって参りましたことはいささかうれしいことです。今年で事務所のコピー機一台でこういったことに対応してきたのですが、この度、印刷機を導入しました。時間やコストがかかっていたことが一挙に解消され、関係者の皆様から喜ばれております。同期会、グループの集まりにもご利用下さい。

今年度のマリアンハウス管理運営委員会のスタッフをご紹介します。

運営委員

スタッフ

栗原 英子 (2E)	須田 朗子 (13E)	濱田美智子 (6E)	土坂比呂子 (6C)	加藤 貞子 (10E)	中井 恭子 (12E)	西岡由美子 (12E)	岩間 恵世 (12E)	中島 馨 (13E)	南 喜代子 (13C)	藤居 千景 (20E)	柴田 宏美 (20C)
------------	-------------	------------	------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------	-------------	-------------	-------------



本部より
御協力お願い!
チャリティ・バザー
(10月21日(木))の
為の寄贈品を
お送り下さい
送り先・問合せ先
マリアンハウス
TEL・FAX
075-701-9149
〒606-0015
京都市左京区
岩倉幡枝町628
担当 大塚(2E)
小亀(3E)

日本文化研究会

松本美佐代(3E)

燈台下暗しを実感しつつ、日本文化研究会に参加させていただいて数年が経ちます。昨秋、嵯峨方面を散策し天竜寺を拝観しました。庭園の美しさもさる事ながら、法堂天井に描かれた八方睨みの雲龍図は、まさに見る人を睨んでいる様に見える見事なものでした。日文研を通して歴史や文化の宝庫を見学、鑑賞出来ます事は大変勉強になり又楽しい事です。お正月は未生流笹岡家次期家元によるお花のパフォーマンスでした。立派な竹の器に天地・人の三角形を基本にし、お花一本一本に感謝を込めて丁寧に生けて下さいました。お家元始め会員の多くの方が着物に身を包み、まことに新年の幕明けに相応しいものでした。

昨今の目まぐるしい暮らしの中にあって、気持ちを豊かにしてくれる日文研の集いは大変有難いものです。若い皆さんもどんどん参加され、日本の文化に触れて下さると嬉しく思います。



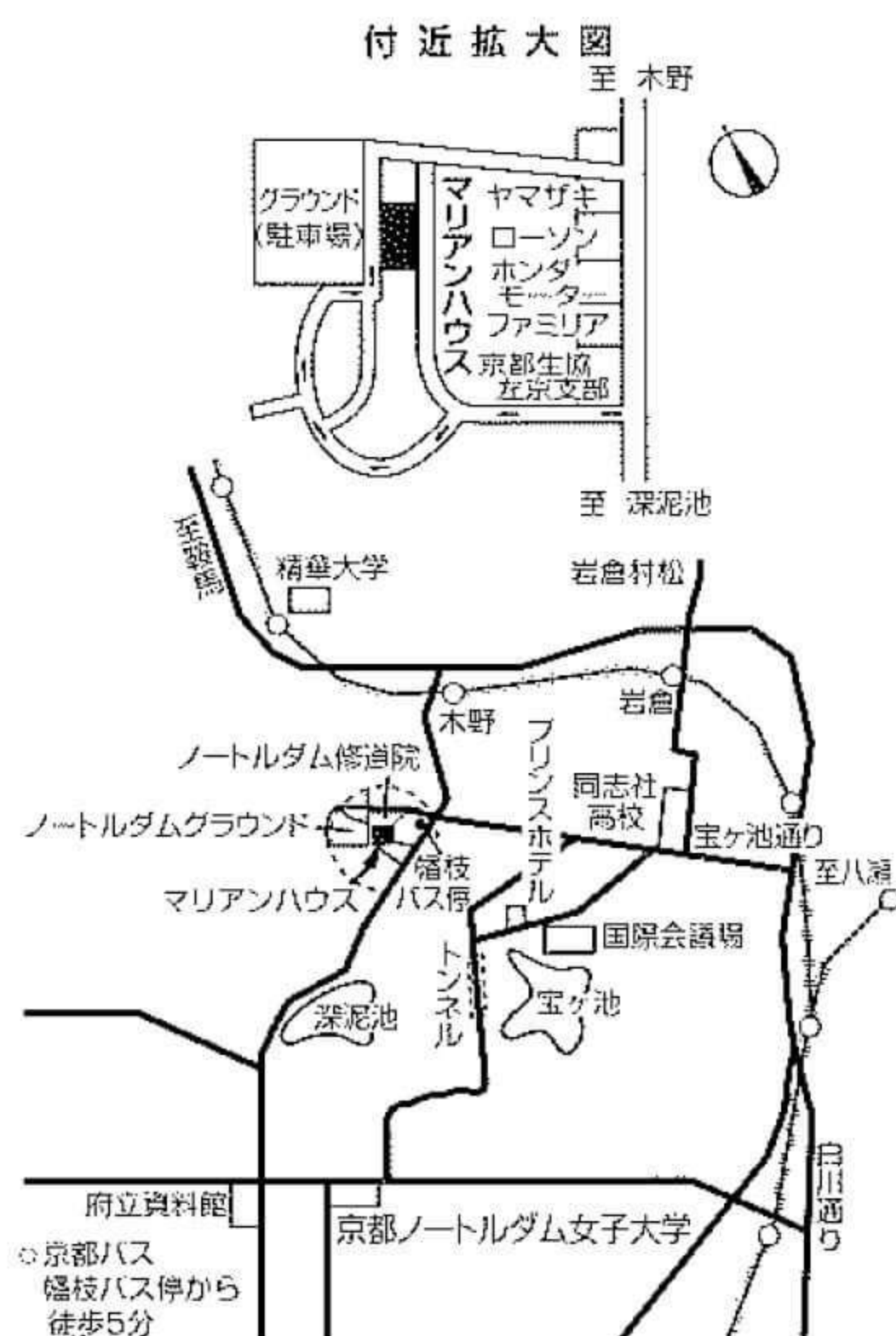
未生流笹岡

家元嗣笹岡隆甫華道パフォーマンス(新年会にて)

くの外 国の方にも 日本文化を知っていただきたいと思います。

マリアンハウス

所在地	〒606-0015 京都市左京区岩倉幡枝町628 TEL.FAX 共 075-701-9149
開館曜日・時間	月・水・金 10:00~15:00 (但し、上記以外でも相談の上、使用可)
年間休館日	●夏休み 8/1~8/31 ●冬休み 12/20~1/10
会館使用料	1F ホール 3,000円 2F ●和室(8畳)1,500円 ●和室(6畳)1,500円 ●洋室(6畳)1,500円 使用時間:10:00~15:00 冷暖房、台所使用可
宿泊	1泊1人2,500円(2名より10名迄) チェックイン:15:00~17:00 チェックアウト:10:00迄 キャンセル:5日前までに以後は50%のキャンセル料 冷暖房、台所、浴室使用可



→→→→→ アクティビティー案内 ←←←←←

マリアンハウスプログラム

月 日	時 間	内 容
H16 6月 2日(水)	10:30~12:30	プリザーブド フラワー 内田陽子先生
7月 9日(金)	10:30~12:00	ゆかた着付 西村さなえ先生
9月22日(水)	10:30~12:30	バザーの作品作り
10月21日(木)	10:30~14:00	チャリティーバザー
11月10日(水)	10:30~12:00	カウンセリング講演 村上勝彦先生
12月15日(水)	10:30~12:00	生花でクリスマスリース作り 服部マリ先生(2E)
H17 2月23日(水)	10:30~12:00	ひな人形 セラミック粘土 森本純子先生
3月23日(水)	10:30~12:30	エアロビクス 松井智美先生
4月27日(水)	10:30~12:30	ケーキ作り 西村玲子先生

クラス	講 師	内 容	場 所・日 時	責 任 者
英文雑誌 の 講 読	シスター セリン松本	やさしい英文誌からTIME誌まで 様々な話題をとりあげます (日本語)	マリアンハウス 第4金曜日 10:30~12:00 5月28日より開始	中田記美江 (7E) 宮澤 紀恵 (19E)
英 会 話	シスター モリーン	能力に関係なく楽しめる英会話 です	ユニソン会館3階 第2・第4月曜日 10:30~12:00 5月10日より開始	堀江眞知子 (2E) 安達真理子 (10E)
書 道	寺田九絲	漢字は三體 (さんたい) 千字文、 かなは梅雪かな帖等をおけいこし ます	マリアンハウス 第1・第3水曜日 10:30~12:00 5月19日より開始	稲本美也子 (18E)
フランス語 (Ⅱ)	阿部哲三	ユルスナールの“東方物語”の一 篇を読んでいます	ユニソン会館3階 第1・第3火曜日 10:30~12:00 5月18日より開始	堀井 都 (6E) 池淵 律子 (6C)
フランス語 (Ⅰ)	相良憲昭	初級テキストを中心に、フランス 語や文化・歴史を学んでいます	ユニソン会館3階 第1・第3金曜日 10:30~12:00 5月21日より開始	片桐 比佐 (3E) 前長 真弓 (29E)
聖 書	シスター セリン松本	より豊かに生きるために聖書を日 常生活と関連づけて読みます	マリアンハウス 第4金曜日 13:00~15:00 5月28日より開始	永根 洋子 (2E)
マリアン コーラス	東 朝子	発声付き体操で始まり、聖歌、季 節や時の歌で心を練磨する合唱団 です	ユニソン会館B1 音楽練習室 毎月第3木曜日 10:00~12:00	丸山ヒデ子 (4E) 岩田真理子 (12C)

手芸ボランティア	手芸品製作・販売 あなたの作品・アイデアをお寄せ 下さい	マリアンハウス 第1・第3金曜日 10:30~15:00 5月21日より開始	岡 和 (4E)
----------	------------------------------------	--	----------

聖書クラス (中部支部)	シスター セリン松本	聖書で読んだ箇所の各人の感想 とシスターの解説	愛知県中小企業センター (052-561-4121) 名古屋駅前徒歩5分 第2金曜日 10:30~12:00 祭日は休講	加藤真理子 (2E)
-----------------	---------------	----------------------------	--	------------

※各クラス受講料は学期毎に1,500円(3回/学期)又は2,500円(5回/学期)。

※各クラス共5名以下の場合、休講とさせていただきます。

※お申し込み、お問い合わせは各責任者又はマリアンハウスまで。

日 本 文 化 研 究 会	2004.6.22.(火) 香りの文化に取り組む松栄堂の工場見学【長岡京】 9. 7.(火) 貴船の川床くらま方面【京都】 11.15.(月) 西国三十三ヶ所、遊龍の松で有名な善峰寺及び花の寺【長岡京】 2005.1.17.(月) 新しく完成した金剛能楽堂【京都】 3.22.(火) 日本及び世界の古代美術が展示されているMIHO美術館【甲賀郡】 4.18.(月) 近江八幡の水郷めぐり【近江八幡】	安井智恵子 (3C) 松本美佐代 (3E) 奥山 典子 (4E) 白井 順子 (4C)
---------------	--	--